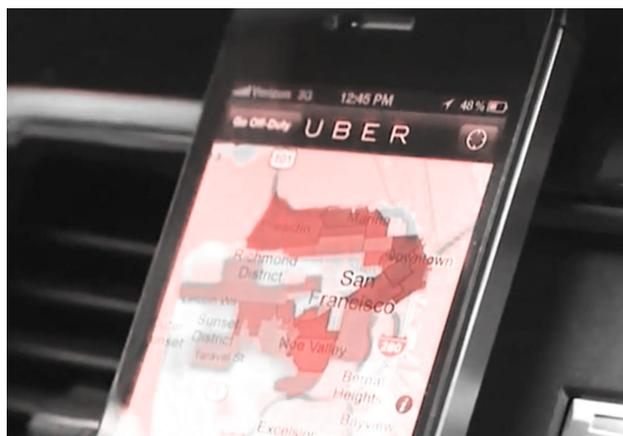




Law Helps Workers in Gig Economy

ウーバー運転手が「従業員」に? 米加州でギグエコノミー規制法



ウーバーのように、米国ではアプリを通じた配車サービスが一般的に利用されている

これだけは覚えておきたい!!

controversial [kɑntrəvɜːrʃəl]	論議を呼んでいる、物議を醸す
permanence [pɜːrmənəns]	持続性、永続性
classify A as B [klæsəfaɪ]	AをBに分類する
minimum wage [mɪnɪməm weɪdʒ]	最低賃金
benefits [bɛnəfɪts]	手当、給付(金)

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語 (3) を聴いてみよう。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード (ポーズなし (4) / ポーズ入り (5)) も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジしてみてください。

Law Helps Workers in Gig Economy

California's state senate is taking direct aim at controversial business practices in the so-called gig economy, where people's **jobs**, like freelance gigs, don't have the same permanence as regular **jobs**. Lawmakers **passed** a measure that would make it much **harder for** companies like Uber and Lyft to classify workers as independent contractors, who don't have to be paid the minimum wage or receive benefits like health insurance or overtime pay. ▶▶70 words (September 12, 2019)

ウーバー運転手が「従業員」に? 米加州でギグエコノミー規制法

カリフォルニア州議会上院は、いわゆるギグエコノミーにおける、論議を呼んでいるビジネス慣行を直接狙い打ちしている。ギグエコノミーの仕事では、フリーランスの仕事などは正規雇用のような持続性を持たない。議会は法案を可決したが、それにより、ウーバーやリフトのような（ギグエコノミーを活用する）企業が労働者を独立した契約者に分類することは今までよりずっと困難になるだろう。そういった独立した契約者には、（それまでの法律では）最低賃金を支払ったり、健康保険や時間外賃金といった手当を支給したりする必要がない。

（訳 石黒円理）

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せませんが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

リスニングにおいては、まず話し手の母音の特徴をつかもう。

2、3行目の **jobs** ▶▶ [ジョブズ]

3行目の **passed** ▶▶ [パースト]

4行目の **harder for** ▶▶ [ハーダーファ]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

この話し手は、スコットランドの出身ですが、発音には、スコットランド英語の顕著な特徴が見られません。方言間の発音上の違いは、主として母音に現れますので、リスニングにおいては、まず話し手の母音の特徴をつかむことが大切です。この話し手の **jobs** の母音は、アメリカ英語のような「ア」に近い響きではなく、標準的なイギリス英語のような「オ」に近い響きになっています。また、この話し手は、**passed** に、アメリカ英語のような **cat** や **map** と同じ母音

ではなく、標準的なイギリス英語のような **pal** や **spa** と同じ母音を用いています。これらの特徴が分かれば、同じ話し手の発音において、例えば [パーサー] のように聞こえれば、それは **possible** ではなく **passable** であると判断できます。ただし、この話し手は、アメリカ英語やスコットランド英語と同様に、**harder for** に含まれる三つの [r] の音を全て発音しています。

解説 南條健助 (桃山学院大学国際教養学部准教授)